



ゆりぐみだより

2018年 1月 第4号

☆最後の発表会☆



あけましておめでとうございます

子ども達の元気な挨拶と笑顔で今年もスタートしました。体の芯まで冷えるような寒さが続き、園庭の木々も北風に吹かれて寒さを倍増させているようです。

保育園での生活も残り3か月となりました。1日1日を大切に元氣いっぱい過ごしていきたいです。

最近の出来事

ある日の制作活動中、「どっちにしようかな〜」「サンタさん大忙しだもんね」と何かを考えている子ども達の声が聞こえてきました。よく聞いてみるとクリスマスかお正月、どちらが好きか考えていたようです。「クリスマスはプレゼントがもらえるけど、サンタさん大忙しになるからお正月にしようかな」や「お年玉で好きな玩具買ったほうがいいよ」と大人な意見もあり、驚きました。その後、もう一度聞いてみると「先生！決まったよ、クリスマスもお正月もどっちも好き」と何とも可愛らしい答えでした♪

先月の小学校見学では、1年生の音楽の授業に参加してきました。教室に入ると、黒板に書いてある文字や壁に貼ってある掲示物が気になり、興味津々な子ども達。授業では、1年生が色々な楽器の鳴らし方や弾き方を教えてくれて、最後は曲に合わせて全員で合奏をしました。教科書を見せてもらったり、机と椅子を使わせてもらったりと初めての経験ばかりでした。

小学校の先生方にも「4月に入学してくることを楽しみにしています」と言われ、1年生になることが更に楽しみになった子ども達でした。

「一人一人が主役」「楽しく練習することが一番大切」とクラスみんな練習してきたクリスマス発表会。「ゆりぐみさんは司会をするんだよね」「早くお着物着たいな」と「ゆりぐみだけ」という言葉に誇らしげな子ども達でした。劇の練習では保育士がももたろうの絵本を読み、子ども達で配役を決めました。「かっこいい鬼がいい」や「可愛いイヌがいい」と言いながら。人数が多くなってしまうと「じゃんけんで決めよう」とアイデアを出してくれる子もいました。始めは、声が小さかったり、手を後ろに組んだまま、動きが硬かったのですが、少しずつ自分のセリフも覚えて、身振り手振りで表現することができてきました。合奏では、メロディオン以外にも様々な楽器を使うので、できるだけたくさんの楽器に触れることができるように練習してきました。「お風呂に入りながら練習したよ」や「何も見なくてもできるよ」と教えてくれて、家でも楽しく練習する姿が目に見え、お遊戯では、去年のクリスマス会を思い出し、「男の子は武田節」「女の子は浴衣着るんだよね」と言って楽しみにしていた子ども達。始めは、踊りよりも扇子を開いたり、閉じたりすることや「目線は指先」にすることが難しかったのですが、繰り返し練習していくうちに曲に合わせて上手に踊ることができました。

本番では、緊張しながらも元氣いっぱい、楽しく表現している子ども達の姿はこの1年間の成長を物語っているようで、私自身とても感動し胸がいっぱいになりました。発表会后、子ども達の表情から「できた！」という大きな自信が伝わってきたように思います。

保護者の皆様も、お忙しい中参加していただきありがとうございました。

